

YAMAHA

Clavinova[®]

CLP-360

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

クラビノーバは、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、伝統に培われた感性と先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

ピアノのアクション機構解析から生まれた小気味良いタッチ感覚のAE鍵盤をはじめ、音色にはリアルで高品位なAWM音源、洗練された様々な機能の採用により、クラビノーバならではの豊かな演奏感を体感していただけます。さらには、デジタル楽器の統一規格・MIDI端子に加え、拡張用の接続端子も装備しており、演奏表現の可能性がいろいろ広がります。

本書では、クラビノーバの魅力をいつまでもお楽しみいただけますよう、正しい取り扱い方法を説明しています。ぜひご一読ください。



もくじ

ご使用の前に	1
クラビノーバの組み立てかた	1
各部の名称とはたらき	4
さあ！弾いてみましょう	5
いろいろな効果や機能を活用しましょう	6
デモ演奏を聴いてみましょう	6
ペダル効果	6
リバープ効果	7
デュアル機能	7
トランスポーズ(移調)機能	8
ピッチコントロール機能	9
楽譜の読みかた	10
弾き語り講座	11
練習曲(赤いスイートピー)	13
MIDIで楽しみましょう	15
MIDIインプリメンテーションチャート	23
仕様	24
オプション(別売品)のご紹介	24
アフターサービスと保証	25

ご使用の前に

設置場所

- 次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。
- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
 - ・温度の特に低い場所
 - ・湿気やホコリの多い場所
 - ・振動の多い場所

お取り扱い

- 落としたり、物をぶつけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

電源の処置

- ご使用後は電源スイッチを切ってください。

外装のお手入れ

- お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗らないでください。

他の電気機器への影響

- ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

保証書の手続き

- お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。

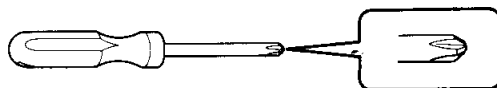
保管

- この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

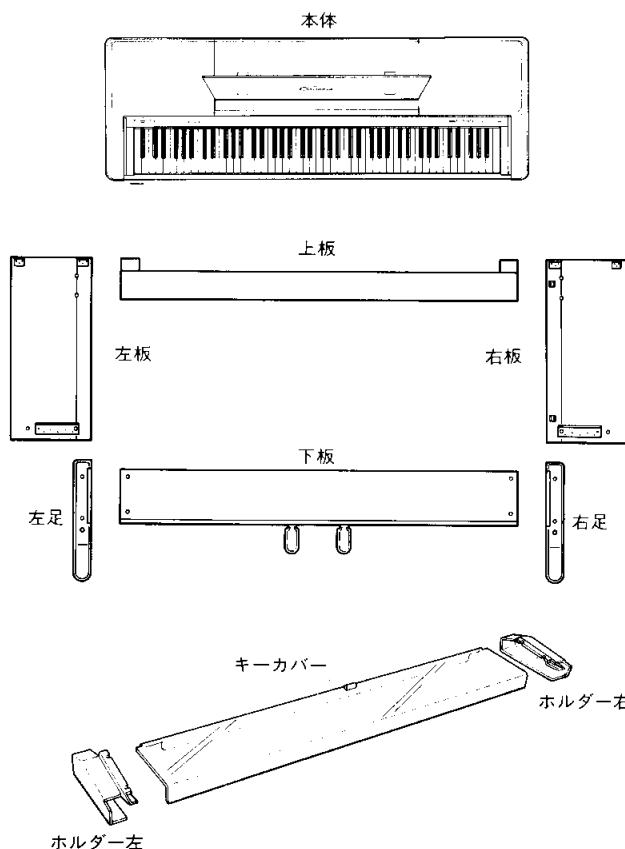
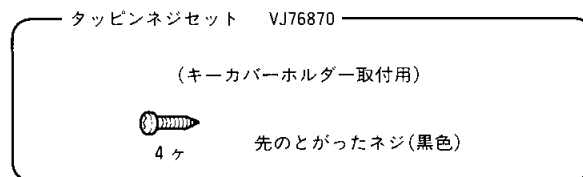
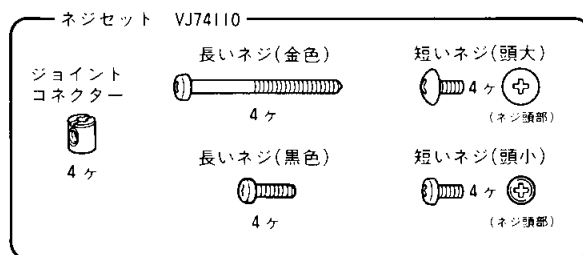
クラビノーバの組み立てかた

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

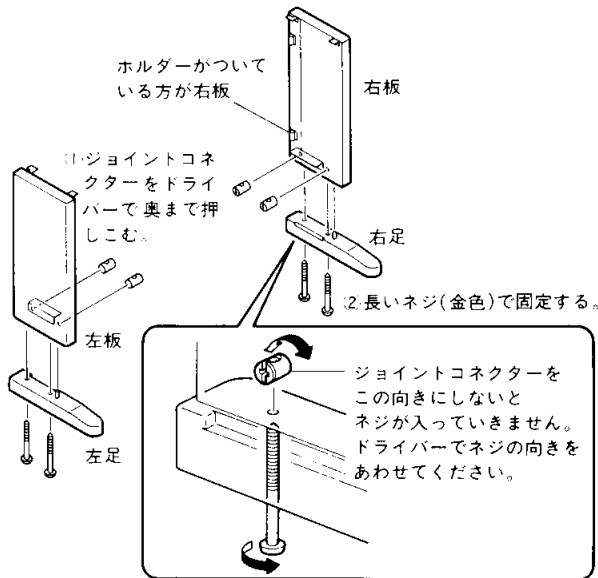
1. + (プラス) のドライバーを用意します。



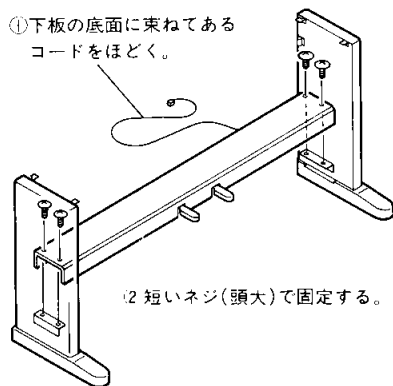
2. 箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。



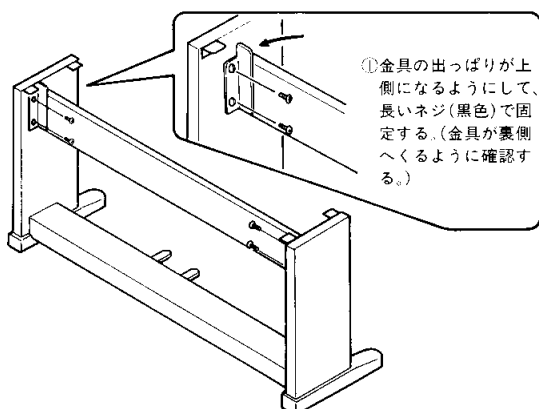
3. 右板と右足、左板と左足を固定します。



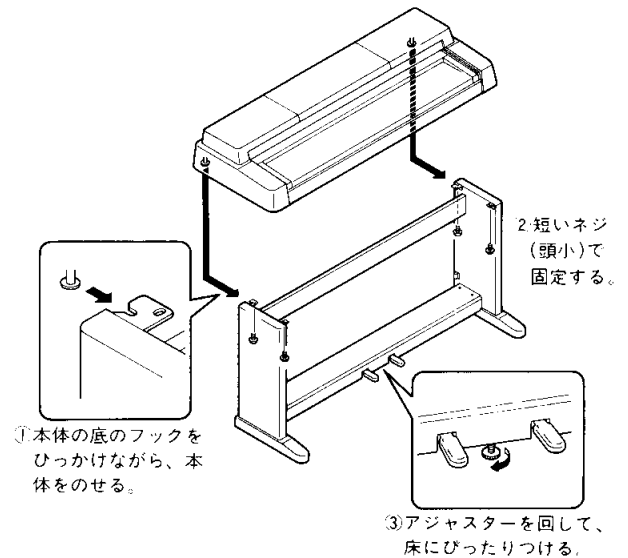
4. 下板を固定します。



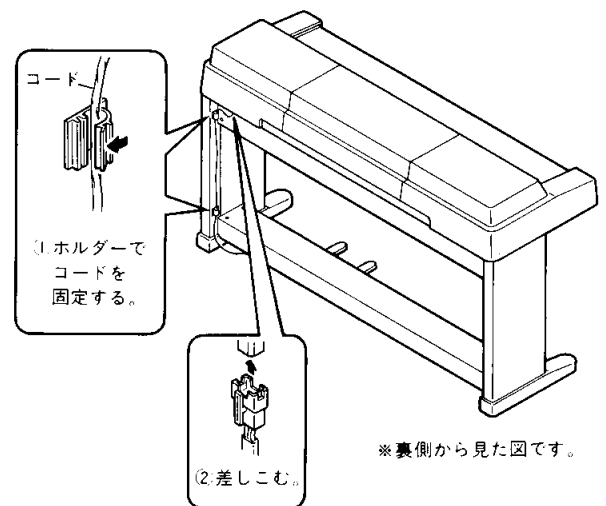
5. 上板を固定します。



6. 本体をのせる。



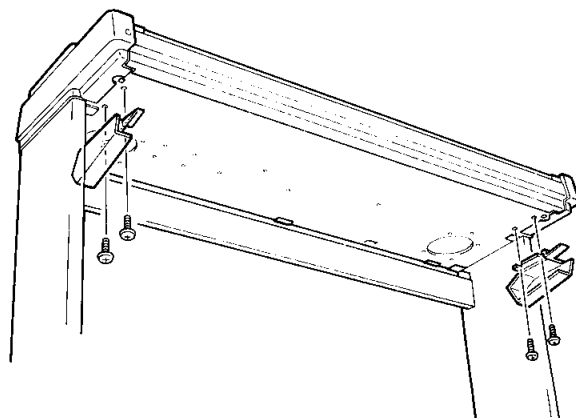
7. コードを接続する。



※引っ越しなどでクラビノーバを移動した場合は、各ネジを締め直して下さい。

キーカバーホルダーの取付けかた

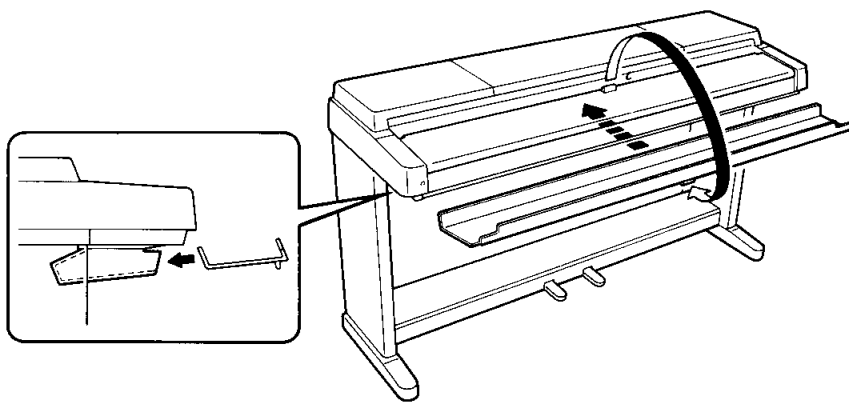
①裏面の下穴に合わせて、先のとがったネジ(黒色)で固定する。



3

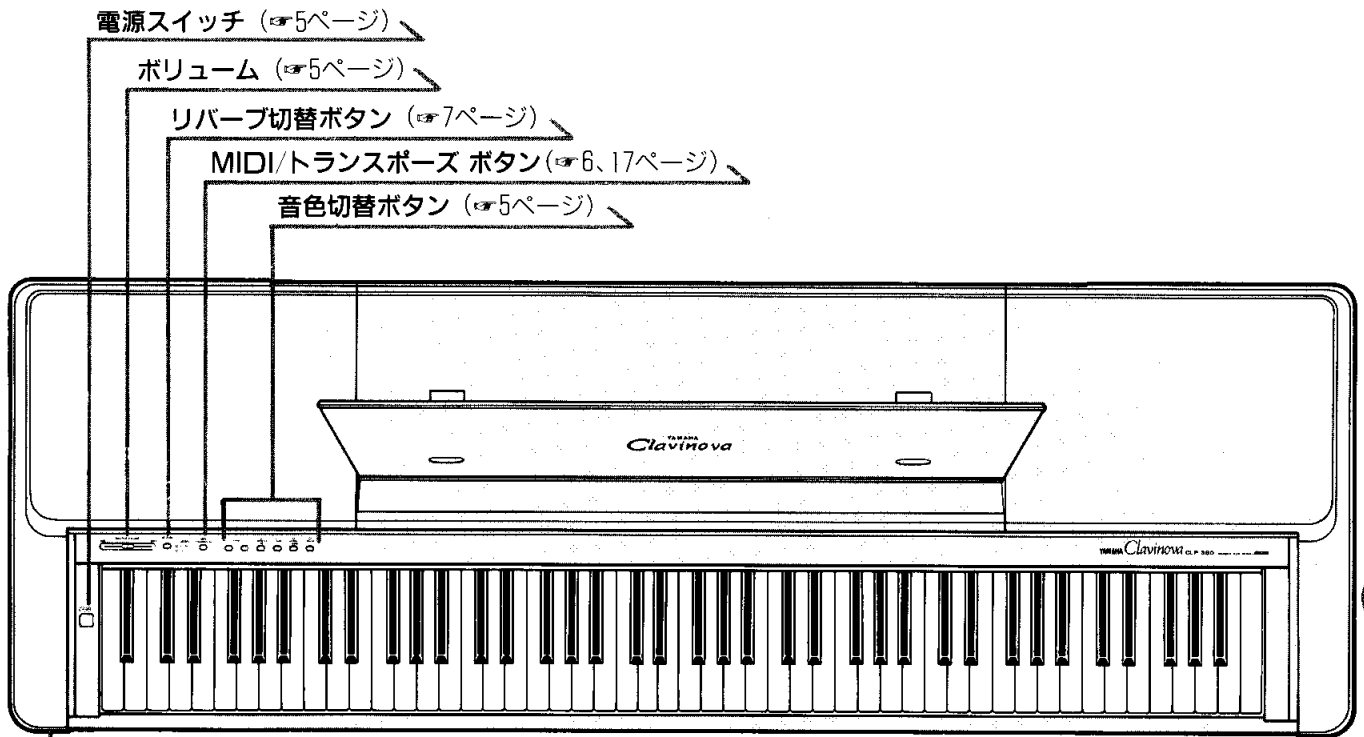
キーカバーの収納のしかた

演奏する時は、図のようにキーカバーを収納できます。



各部の 名称とはたらき

マークのところにくわしく説明してあります。



4

ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

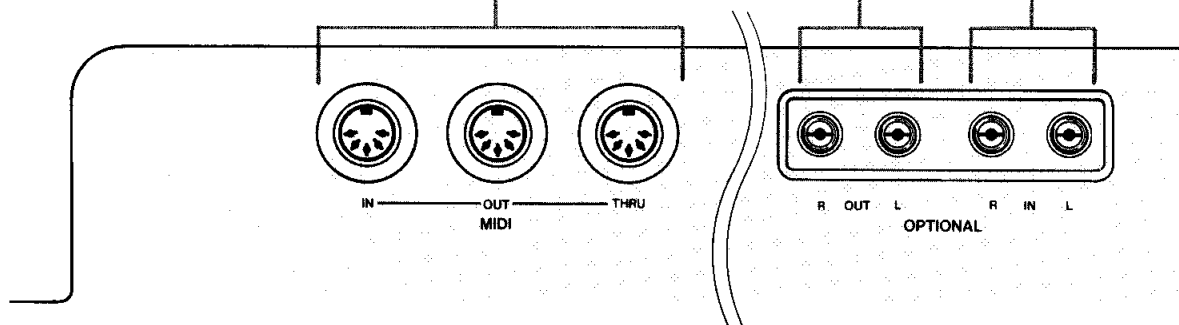
MIDI 端子 (※15ページ)

オプション出力端子

外部の製品にクラビノーバの音を送ることができます。

オプション入力端子

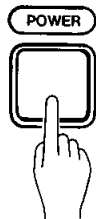
外部の製品の音をクラビノーバでいっしょに鳴らすことができます。



さあ！ 弾いてみましょう。

1. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

2. 電源スイッチをオンにします。



★電源スイッチをオンにした時は、ピアノ1の音色が選ばれています。

★電源スイッチを押して約3秒くらいしてから、音を出せます。

★電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

クラビノーバトーン：

ブラス(金管楽器)アンサンブル系の明るい音で、弾く強さに応じて音色変化の得られる新しいイメージの音色です。強弱をつけて演奏すれば、幅広い表現が可能です。

エレクトリックピアノ：

明るい電気ピアノの音。

ハーブシコード：

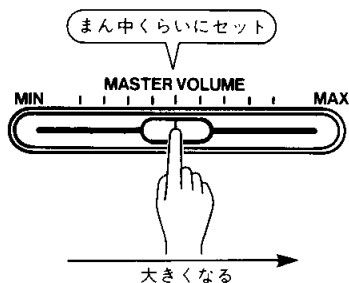
ハーブシコード(バロック感覚の楽器)の音。

オルガン：

パイプオルガンの音。

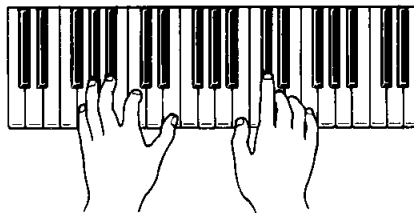
※どの音色を選んだ場合も、押鍵を続けていてもだんだん音が小さくなっていきます。

3. 音量を調整します。



★鍵盤を押して音を出しながら、ボリュームで調整してください。

5. 弾いてみましょう。

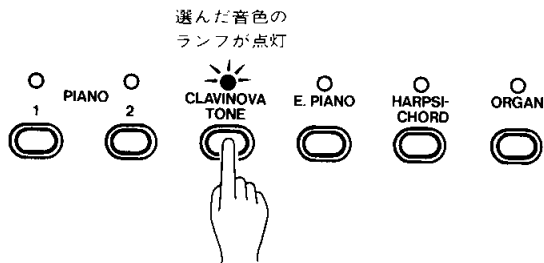


いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

★同時発音数は16音です。(16音ポリフォニック)ただし、クラビノーバトーンを選んだ場合は8音です。

※クラビノーバには様々な効果や機能がありますが、それらは後で順に紹介していきます。

4. 音色を選んでください。



★音色を2つ選んで、いっしょに鳴らすこともできます。(7ページ)

★各音色はこんなイメージです。

ピアノ1、ピアノ2：

異なった2種類のコンサートグランドピアノの音。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけることがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

いろいろな効果や 機能を活用しましょう。

デモ演奏を聴いてみましょう

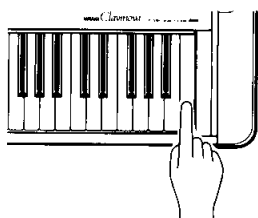
デモンストレーション曲が2曲入っており、いつでも自由に聴くことができます。1曲ずつ聴いたり、全曲リピートさせることもできます。

デモ演奏のスタート方法

1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. いちばん高い音(C7の鍵盤)を押します。



押す回数によって次のようになります。

- 1 回押すと：1 曲目だけを再生します。
- 2 回押すと：2 曲目だけを再生します。
- 3 回押すと：1 曲目からスタートして、全曲リピートします。

★デモ演奏は、1 曲ずつ聴いた場合には、曲が終れば自動的に止まります。

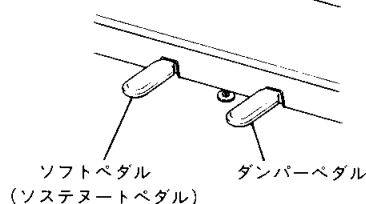
曲の途中で止めたい場合には、MIDI/トランスポーズボタンを押してください。

★全曲リピートさせた場合は、止めるまで何回でも自動再生されます。止める時には、MIDI/トランスポーズボタンを押してください。

★デモ演奏中は、ペダルの機能のみ動きません。

ペダル効果

スタンド部分には2つのペダルがついており、それぞれに役割があります。なお、左側のソフトペダルは希望に応じて切り替え、ソステヌートペダルとして使用することもできます。各ペダルによる効果をうまく使い分けてください。



ソフトペダルを踏むと………音の響きがやわらかくなります(ソフト効果)。

ダンパーペダルを踏むと………音に余韻がついて響きが豊かになります(ダンパー効果)。

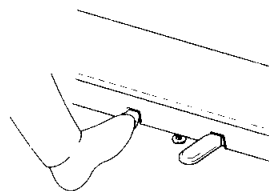
ソフトペダルをソステヌートペダルに切り替えたうえで踏むと………ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます(ソステヌート効果)。

ソフト/ソステヌート切替方法

1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. ソフトペダルを踏みます。

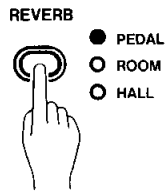


※もう一度踏むと、ソフト効果に戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもソフト効果が選択されています。

リバーブ効果

リバーブをかけることができます。リバーブをかけると、音の響きが豊かになります。



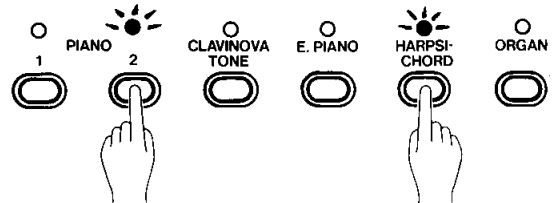
リバーブ切替ボタンを押して、希望する響きのランプを点灯させてください。

- ★ボタンを押すたびに次のように切り替わります。
 - ・ランプ消灯：リバーブはかかりません。
 - ・ペダル：ダンパーペダルを踏んだ時だけ音に余韻がつきます。
(ピアノの響板の響きの効果を作ります。)
 - ・ルーム：響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
 - ・ホール：コンサートホールで弾いた時のような音になります。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもオフ（ランプ消灯）になります。

デュアル機能

2つの音色を選んで同時に鳴らすことができます。

選んだ音色のランプが両方点灯



組み合わせたい2つの音色切替ボタンを順に押します。

- ★曲の進行に合わせて、1音色の状態と2音色の状態を使い分けると効果的です。
- ★1音色の状態に戻りたい時は、通常通りに希望する音色のボタンだけを押してください。
- ★2つの音色の音量バランスは、後に押した方の音色が少し小さくなります。
- ★2音色の状態にすると、同時発音数は、通常16音発音の半分の8音になります。クラビノーバトーンを含めた2音色にすると6音です。

トランスポーズ(移調)機能

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



のように弾いたものが



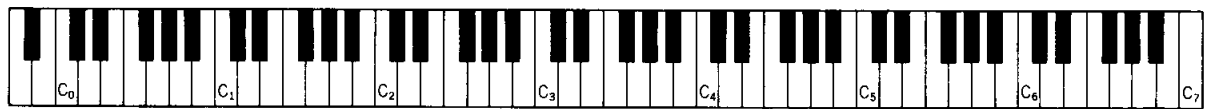
のように鳴ります。

■移調量の設定方法

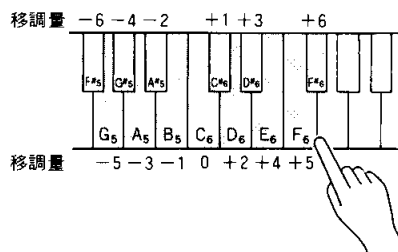
1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. “トランスポーズ量指定用鍵盤”で移調量を指定します。



たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、C6よりも5半音高い鍵盤、つまりF6の鍵盤を押します。



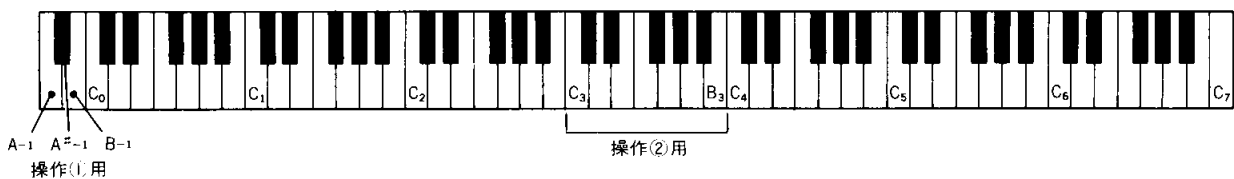
★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。

★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。

ピッチコントロール機能

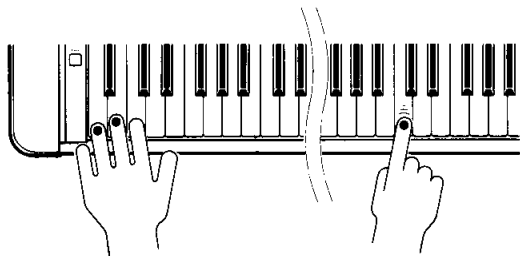
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせます。

■音程の合わせ方



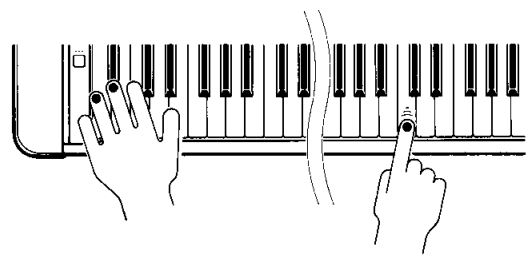
◆音程を上げる時

- ①上の図に示したA₋₁とB₋₁の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。



◆音程を下げる時

- ①上の図に示したA₋₁とA[#]₋₁の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



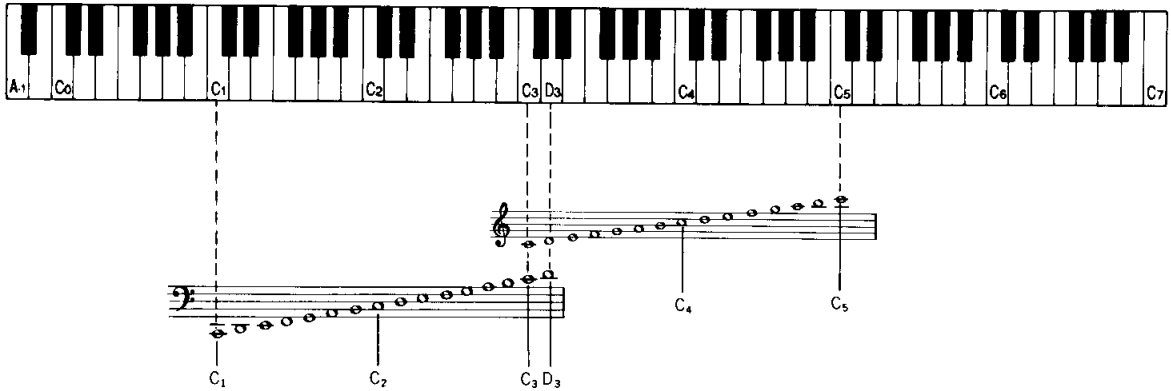
★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A₃=440Hz)

★元の高さ(A₃=440Hz)に戻す時は電源を入れなおすか、またはA₋₁、A[#]₋₁、B₋₁の3鍵盤を同時に押しながら、C₃～B₃のいずれかの鍵盤を1回押してください。

★±50セントの範囲、約1.2セントステップで設定できます。(参考：100セント＝半音)

譜の読みかた

■鍵盤と五線譜の関係



■音符と休符の長さ

音符		休符	
音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
○ 全音符	4つ分のはず	— 全休符	4つ分休む
♪ 付点2分音符	3つ分のはず	— 付点2分休符	3つ分休む
♪ 2分音符	2つ分のはず	— 2分休符	2つ分休む
♪ 4分音符		♪ 4分休符	
♪♪ 8分音符	♪(♪)=♪ 半分にする	♪ 8分休符	♪(♪=♪) 半分休む
♪♪♪ 16分音符	♪(♪♪)=♪ 1/4にする	♪ 16分休符	♪(♪♪=♪) 1/4だけ休む
♪♪♪ 3連音符	♪ 3等分する		

(♪♪♪ は♪を3等分)

■記号の意味

記号と読み方	意味	記号と読み方	意味
♯ シャープ	半音上げる	: : リヒート	くりかえし
♭ フラット	半音下げる	1. 2. 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあとにへ
♮ ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初からくりかえし
♪ タイ	音を続ける	D.S. ダルセーニョ	記号 ♯ からくりかえし
♪ スラー	なめらかに	♯ Coda コード	くりかえしのあと ♯ から♯Codaへ
◐ フェルマータ	その音をはす		
Tacet クセツト	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

弾き語り講座

たった1台で、メロディー、リズム、ハーモニーと音楽の3要素を表現できるスグレた楽器、ピアノ。でも、この3要素を全部ひとりで演奏するのはとても大変なこと。やっぱりそれなりに“レッスン”ということになってしまいます。

そこで、登場するのが『弾き語り』。3要素のうちメロディーの部分のうちうたえば、残りのハーモニーとリズムだけをピアノで弾けばよいのです。これでかなり難しい曲も雰囲気を出しながら、やさしく演奏することができます。ピアノ弾き語りでは、おもに右手でコード(和音)を、左手でベースを担当し、右手と左手の弾くタイミングでリズムを作るというのが基本です。

STEP 1 まずは基本をしっかりと

コードには、いろいろな種類があって“C”“G”などアルファベット1文字のものをメジャーコード、“Cm”“Gm”など小さい“m”のついたものをマイナーコード、そして“C7”“G7”などをセブンスコードとよびます。メジャーコードは明るめ、マイナーコードはちょっと寂しげ、セブンスコードはハデな印象です。ベースの基本は、“Cm”“C7”だったらC音(ド)、“Gm”“G7”だったらG音(ソ)をおさえることです(これを専門用語ではルートとか根音と呼びます)。このコードとベースの弾き方を覚えると、たいいていの曲を弾くことができます。

STEP 2 フィーリングでひと工夫

“C”“G”“Am”“F”の4つのコードは、よく使われる代表的なものです。これらをマスターすると『ダイアナ』や『涙のリクエスト』など、たくさんの曲が弾けます。

EX.1 ダイアナ

by Paul Anka

© 1957 by PAMCO music inc.
The rights for Japan assigned to
© musical rights (Tokyo) K.K.
日本音楽著作権協会(出)
許諾第 9070783-001号

EX.2

基本形

VARI.1

VARI.2

このようにCコードなら右手は“ドミソ”左手は“ド”、Amコードなら“ドミラ”と“ラ”を全音符で弾くのが、いちばんやさしい演奏法。あとは、その曲にあわせ、4分音符で刻んだり3連符で“ザザザ”とやるなどフィーリングでリズムに演奏を(EX.2)。あわせて左手のほうも工夫しよう。ここまでできるようになれば、コードネームとメロディーだけとか歌詞だけの楽譜を見てもいろいろなバリエーションでプレイを楽しむことができます。

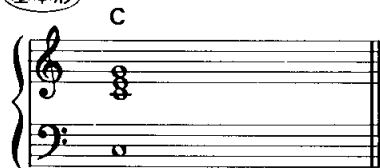
STEP 3 ちょっと高度にアルペジオ

コード演奏には、STEP 1・2でやってきたように“ジャン・ジャン・ジャン”とその和音を一度におさえる方法のほかに、アルペジオという弾き方があります。アルペジオというのは、その和音につかわれている音をバラバラにして演奏することで、分散和音ともよばれています。いま

までの弾き方ではなにか物足りないナァという時やメロウな感じの曲などで使う、ピアノ弾き語りには欠かせないテクニック。ここまでマスターすると演奏の幅がグーンと広がります。たとえば、コード演奏を下のEX.3 VAR 1・2のパターンで弾いても、また一味違った演奏に！

EX. 3

基本形



VARI.1



VARI.2



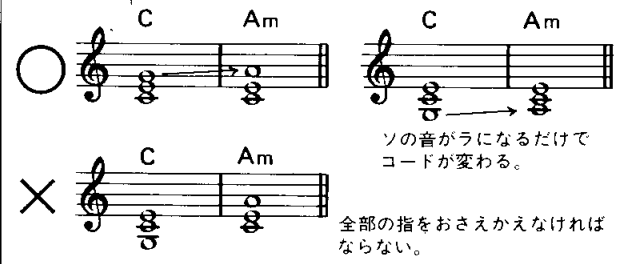
STEP 4 転回テクニックでラクラク演奏

さて、いままでは、Cコードを“ドミソ”、Amコードを“ドミラ”と覚えてきました。ところが、コードはいつもこういうふうには弾かなければイケナイというものではありません。音のつきかさねの順番をちょっと変えてCコードを“ソドミ”とか“ミソド”、Amコードを“ラドミ”“ミラド”と弾くこともできるのです。

ちょっと鍵盤をおさえてためてみましょう。“ドミソ”と“ソドミ”では響きがちがいますね。こういうふうには順番をかえる(=転回するといいます)テクニックを覚えると、雰囲気を変えられるというお楽しみメリットと同時に演奏をラクにすることができます。EX.4を見てくださ

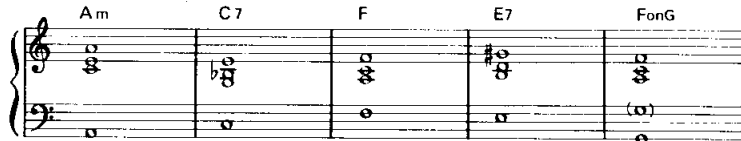
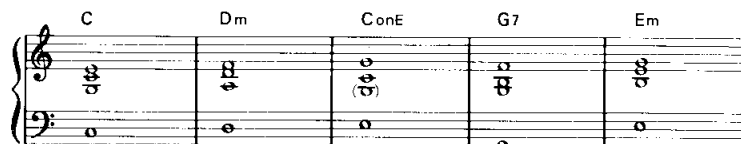
い。このようにC→Amに変えるのも指1本をとなりに動かすだけ。しっかりマスターしてバラエティーに富んだ響きの流れるような演奏をモノにしましょう。

EX. 4



●それでは、13ページの「赤いスイートピー」で弾き語りにトライ！

「赤いスイートピー」のコード(右手)とベース(左手)のおさえ方



One Point Advice

- ★イントロは譜面通りに
- ★A[B|C]は左のようなストローク奏法が似合います。
- ★エンディングは譜面通りに。

練習曲

赤いスイートピー

Intro.

Medium Slow

作詞：松本 隆
作曲：呉田軽穂

Introductory piano accompaniment for 'Red Sweet Peas'. The piece is in 4/4 time and begins with a *mp* dynamic. The melody is written in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The key signature is one flat (F major/D minor). The chords are C, Dm, ConE, Dm, and G7. Fingerings are indicated above the notes: C (2 1 2 5 2 1), Dm (2 1 2 5 2 1), ConE (2 1 2 5 2 1), Dm (3 2 1 1), and G7 (3 2 1 1).

13

First line of the song with lyrics. The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The key signature is one flat. The chords are C, Dm, Em, Am, Dm, G7, and C. The lyrics are: はるいーろのきしゃに の っ て うみに - つれていっ てよー

Second line of the song with lyrics. The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The key signature is one flat. The chords are C, Dm, Em, Am, Dm⁶, G7, and C7. The lyrics are: たばこーのにおいの シャ ツに そつと - よりそうか ら な ぜ し

Third line of the song with lyrics. The melody is in the treble clef, and the bass line is in the bass clef. The key signature is one flat. The chords are F, C, Dm, C7, F, E7, Am, and G7. The lyrics are: り あ っ た ひ か ら - は ん と し す ぎ て も あ な た - っ て て も に ぎ ら な い I will

B C Em F FonG C Em

fol - low you — あ な た に — つ い て ゆ — き た い I will fol - low you — ち ょ っ び り — き

mf

F FonG

が よ わ — い け ど す て き — な — — ひ と だ か — ら —

14

C C Dm Em Am F FonG **ENDING** C

こ ころ — の き し べ に さ い た あ か い ス イ ー ト ビ —

mp

Dm ConE Dm G7 C

MIDIで 楽しみましょう。

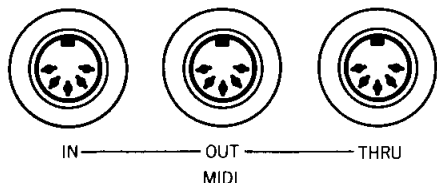
グラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス (Musical Instrument Digital Interface) の頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

15 本機のMIDI端子

本機には、次のように3種類のMIDI端子があります。(どのMIDI製品を見ても、実はこの3種類以外にはMIDI端子はありません。)



MIDI OUT(ミディアウト)

クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

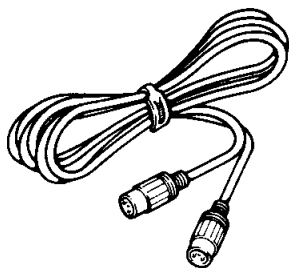
MIDI THRU(ミディスルー)

グラビノーバのMIDI IN端子から入力した演奏内容等が、そのまま出力されます。(つまり、さらに別の製品にも同じ内容を送ることが可能)

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15 : 15m) ¥3,000

(MIDI-03 : 3m) ¥1,100

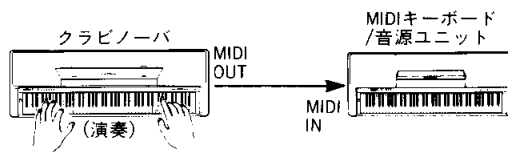


MIDIのできること

MIDIで何ができるかは、接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品に共通したMIDI機能なら、とりあえず可能性ありということになります。MIDI製品と一口にいっても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介합니다。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

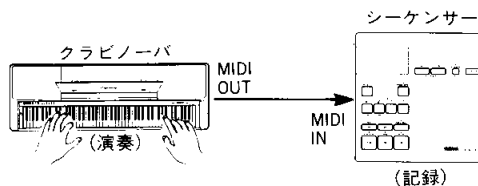
MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



- ★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。
- ★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。
 - ペダルを操作した時……ペダルを踏んだ/離したを意味する情報を出力
 - パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時……パネル上の設定状態等を出力
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子 (OPTIONAL IN) から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
- ※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。
- ※音源ユニットは簡単にいうとキーボードから鍵盤を除いたもの (=音源まわりを残したもの) だと思ってください。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合



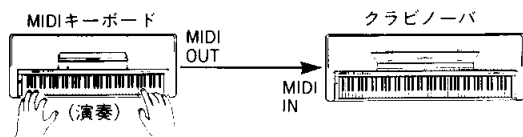
★クラビノーバでの演奏内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容を記録すれば、後でそれを再生して自動演奏させることができます。

ここで一つ考えなければならないのは、同じように演奏内容を記憶させることができる機械にテープレコーダーというのがありますが、これとは実際には大きく異なることがある、という事実です。テープレコーダーには音そのものを記憶させますが、シーケンサーの場合は音ではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを記憶させるということです。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品（MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの）を使わなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★MIDIシーケンサーには、演奏内容だけでなく、音色の切替情報やイクスクループ情報（後述）を記録できるものもあります。

MIDI IN端子を使ってできること

◆MIDIキーボードに接続した場合



★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みが増えます。

★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。

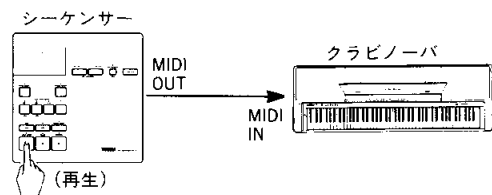
★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。

- ペダル効果をコントロールする情報
- リバーブの選択を変える情報
- ボリュームをコントロールする情報
- パネルデータバルクダンプのリクエスト情報

※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子（OPTIONAL IN）から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

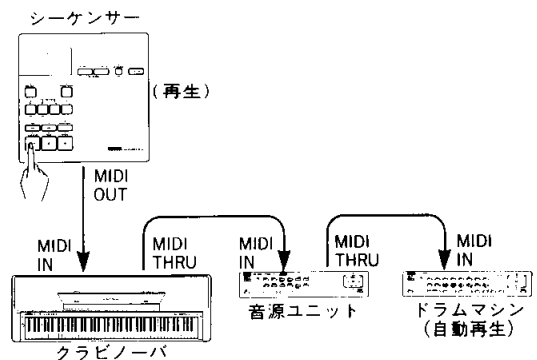
◆MIDIシーケンサーに接続した場合



★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

MIDI THRU端子の使い方

MIDI THRU端子はシステム接続する時に便利です。MIDI THRU端子を使った接続として、たとえば次のような自動演奏システムが考えられます。



★このシステムは、シーケンサーを再生してクラビノーバと音源ユニットで鳴らし、それにリズムを加えて自動演奏化しようというものです。

※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。（設定しなくてもたまたま動くこともありますが……）

◆MIDIチャンネルの設定

MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり（テレビの場合は1から62です）、ほとんどのMIDI情報*に“この情報は ○○チャンネルだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつかのチャンネルの情報が次々に出力されます。そして1本のMIDIケーブルの中をいくつかのチャンネルの情報がいっしょに

流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、必要なそのチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。

そして、最も一般的なMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

送・受信チャンネルの設定方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②該当する鍵盤を押します。

- 送信チャンネル
 - 1に切り替える場合……………C₁
 - 2に切り替える場合……………C_{#1}
 - ⋮
 - 16に切り替える場合……………D_{#2}
 - オムニオフ+受信チャンネル
 - 1に切り替える場合……………C₃
 - ⋮
 - 16に切り替える場合……………D_{#4}
 - オムニオン+受信チャンネル
 - 1に切り替える場合……………E₄
- ※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのボイスメッセージ（鍵盤、ペダル、音色スイッチ等）でも受信する状態です。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも送信=チャンネル1、受信=オムニオン+チャンネル1が選ばれています。

◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製

品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②ピアノ1ボタンを押します。
 - ローカルコントロールオフにする場合……………PIANO 1のランプを点灯させる。
 - ローカルコントロールオンに戻す場合……………PIANO 1のランプを消灯させる。
- ★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもローカルコントロールオンが選ばれています。

◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わらなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合には、プログラムチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②ピアノ2ボタンを押します。
 - プログラムチェンジオフにする場合……………PIANO 2のランプを点灯させる。
 - プログラムチェンジオンに戻す場合……………PIANO 2のランプを消灯させる。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもプログラムチェンジオンが選ばれています。

◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態にすると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

オン／オフの切替方法

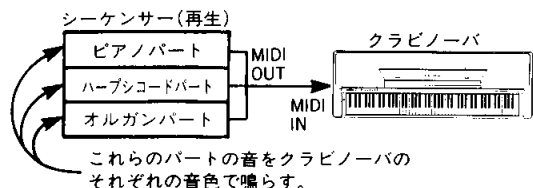
- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②クラビノーバトーンボタンを押します。
 - コントロールチェンジオフにする場合……………
CLAVINOVA TONEのランプを点灯させる。
 - コントロールチェンジオンに戻す場合……………
CLAVINOVA TONEのランプを消灯させる。
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもコントロールチェンジオンが選ばれています。

◆マルチティンバーモードオン／オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態にすると、チャンネル1～10のどのチャンネルの情報でも受信できるようになります。
たとえばシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

オン／オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②エレクトリックピアノボタンを押します。
 - マルチティンバーモードオンにする場合……………
E.PIANOのランプを点灯させる。
 - マルチティンバーモードオフに戻す場合……………
E.PIANOのランプを消灯させる。
- ★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。
- ★マルチティンバーモードの代表的な使用例は次のとおりです。



つまり(別々のチャンネルで)シーケンサーに記録された様々なパートの演奏を、クラビノーバ1台で再生できます。(つまり、アンサンブルを楽しむことができます。)

- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもマルチティンバーモードオフが選ばれています。
- ★同時発音数は5ページを参照してください。

◆スプリット&レフトローカルオフ

スプリット&レフトローカルオフという機能を使うと、「この鍵盤から低い方の音はクラビノーバでは鳴らないようにする。」という状態にできます。もちろん、鳴る音と鳴らない音の境にする鍵盤は自分で指定できます。

これは、左手で弾いた音を外部の製品側で鳴らし、右手で弾いた音をクラビノーバ自身で鳴らすための機能です。この時、左手の音と右手の音は異なった音色にします。

たとえば左手をプラス、右手をエレクトリックピアノのような組合せです。

また、左手はうまく弾けないので右手の音だけ鳴らす、という使い道もあります。

設定方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②ハーブシコードボタンを押します。すると、ハーブシコードボタンのランプが点滅しますので、そのままMIDI/トランスポーズボタンだけは離さずに、
- ③左手の最高音の鍵盤(鳴らないようにする一番右側の鍵盤)を押します。
ハーブシコードボタンのランプが点灯に変わり、設定完了です。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信されますので、外部の製品のMIDI受信チャンネルを2に合わせてください。

また右手の演奏情報が“MIDIチャンネルの設定”のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。必要なら右手の音もさらに別の製品で、クラビノーバの音といっしょに鳴らすことができます。

★MIDIシーケンサーに、左右別々のチャンネルで記録することも可能です。

★もとの状態に戻す時は、次のようにしてください。

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②ハーブシコードボタンを押し、HARPSICHORDのランプを消灯させます。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆スプリット&ライトローカルオフ

前項のスプリット&レフトローカルオフは左手の音が出ないようにする機能でしたが、この機能は逆に右手の音が出ないようにする機能です。機能の使い道は前項と同様です。

設定方法

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②オルガンボタンを押します。すると、オルガンボタンのランプが点滅しますので、そのままMIDI/トランスポーズボタンだけは離さずに、
- ③左手の最高音の鍵盤(鳴るようにする一番右側の鍵盤)を押します。
オルガンボタンのランプが点灯に変わり、設定完了です。

★左手の演奏情報はMIDIチャンネル2で送信され、右手の演奏情報は“MIDIチャンネルの設定”のところで指定したMIDIチャンネルで送信されます。外部のMIDI製品の受信チャンネルは、クラビノーバの送信チャンネルに合わせてください。

★もとの状態に戻す時は、次のようにしてください。

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②オルガンボタンを押し、ORGANのランプを消灯させます。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この機能は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつももとの状態に戻っています。

◆レッスンモードの切替

ディスクレコーダーEMQ-1にエデュケーションシリーズという再生専用ソフトを組み合わせ、それをクラビノーバを使って鳴らす場合のみ関係します。エデュケーションシリーズは左手パートと右手パートを独立させて再生できるソフトです。

このレッスンモード機能は、どちらかのパートを再生させて、それを聴きながらもう片方を練習できるようにしよう、というものです。

★左手パートはチャンネル2で、右手パートはチャンネル1でやりとりします。

左手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②B₋₁の鍵盤を押します。すると、左手再生モードになり、左手パートのみ再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル1になります。

右手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②A₋₁の鍵盤を押します。すると右手再生モードになり、右手パートのみ再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオン+受信チャンネル2になります。

両手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
 - ②B₋₁とA₋₁の鍵盤の両方を押します。すると両手再生モードになり、両パートを再生させることが可能になります。
- ★このモードにすると、オムニオン+受信チャンネル1になります。

MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読める方はご覧ください。
CLP-360のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

1. 送信データ

1-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

- ① ノートオン/オフ：鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo	0kkkkkkk	k=21(A ₁)~108(C ₇)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

- ② コントロールチェンジ：各ペダル操作をした時に送信します。

ステータス	1011nnnn(BnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	0ccccccc	c=64(ダンパー), 66(ソステヌート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	ダンパー/ソステヌート/ソフト v=0~63(オフ), 64~127(オン)

- ③ プログラムチェンジ：音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1100nnnn(CnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo	0ppppppp	p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(CLAVINOVA TONE), 3(E.PIANO), 4(HARPSICHORD), 5(ORGAN)

1-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

- ① アクティブセンシング：約200msecごとに1回送信します。

ステータス	11111110(FEH)
-------	---------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

- ① パネルデータバルクダンプ：パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo	01111100(7CH)	"パネルデータバルクダンプ"
バイトカウント	00000000(00H)	
バイトカウント	00011001(19H)	
	01010011(53H)	"S"
	01001011(4BH)	"K"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
	00110010(32H)	"2"
	00110001(31H)	"1"
	00110111(37H)	"7"
	00110011(33H)	"3"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
バージョンNo	00110000(30H)	
	00110000(30H)	
データ	0ddddddd	
データ	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111(F7H)	

- ② モデルIDコードバルクダンプ：モデルIDコードバルクダンプリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo	01111101(7DH)	"モデルIDコードバルクダンプ"
バイトカウント	00000000(00H)	
バイトカウント	00010000(10H)	
	01010011(53H)	"S"
	01001011(4BH)	"K"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
	00110010(32H)	"2"
	00110001(31H)	"1"
	00110111(37H)	"7"
	00110011(33H)	"3"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
バージョンNo	00110000(30H)	
	00110000(30H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111(F7H)	

- ③ リバーブ：リバーブ切替ボタンを切り替えた時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	00100100(24H)	CLP-360
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	01011001(59H)	
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL)
EOX	11110111(F7H)	

- ④ デュアル：音色を2つ選んだ時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	00100100(24H)	CLP-360
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	01011010(5AH)	
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(DUAL)
EOX	11110111(F7H)	

- ⑤ デュアル演奏での音色：組み合わせる2つの音色のうち、先に選んだ方の音色切替ボタンを押した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	00100100(24H)	CLP-360
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	01011100(5CH)	
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(CLAVINOVA TONE), 3(E.PIANO), 4(HARPSICHORD), 5(ORGAN)
EOX	11110111(F7H)	

2. 受信データ

2-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

- ①ノートオン/オフ：ノートNo.によって発音の音程が決まり、ベロシティによって音量および音色が決まります。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo	0kkkkkkk	k=21(A ₁)~108(C ₇)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

- ②ノートオフ：ノートオフをステータス8nHで送り出す機器との対応のためです。

ステータス	1000nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo	0kkkkkkk	k=21(A ₁)~108(C ₇)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=無視します

- ③コントロールチェンジ：メッセージに従って各対応をします。

ステータス	1011nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	0ccccccc	c=7(ボリューム), 11(エクスプレッション), 64(ダンパー), 66(ソステヌート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	ボリューム v=0(最小), 111(-3dB), 127(最大) エクスプレッション v=0(最小), 111(-3dB), 127(最大) ダンパー/ソステヌート/ソフト v=0~63(オフ), 64~127(オン)

- ④プログラムチェンジ：プログラムNo.によって音色が決まります。なお、指定番号よりプログラムNo.の大きいメッセージは無視します。

ステータス	1100nnnn(CnH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo	0ppppppp	p=0(PIANO 1), 1(PIANO 2), 2(CLAVINOVA TONE), 3(E.PIANO), 4(HARPSICHORD), 5(ORGAN)

◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

ステータス	1011nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo	0ccccccc	c=121(リセットオールコントローラー*), 122(ローカルコントロール), 123(オールノートオフ*), 124(オムニオフ/オールノートオフ), 125(オムニオン/オールノートオフ)
コントロール値	0vvvvvvv	ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン) ローカルコントロール以外 v=0

- *リセットオールコントローラーおよびオールノートオフは、オムニオフの時のみ認識します。

2-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

- ①アクティブセンシング：受信すると、センシングを開始します。その後400msecの間ステータスもデータもこない場合には、発音を強制的に停止させます。

ステータス	11111110(FEH)
-------	---------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

- ①パネルデータバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、パネルデータを送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0010nnnn(2nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo	01111100(7CH)	"パネルデータバルクダンプリクエスト"
EOX	11110111(F7H)	

- ②モデルIDコードバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、モデルIDコードを送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0010nnnn(2nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo	01111101(7DH)	"モデルIDコードバルクダンプリクエスト"
EOX	11110111(F7H)	

- ③パネルバルクデータ：このメッセージを受信すると、パネル上の各設定が変わります。(ボリュームは動きません。)データについては、送信データの項を参照。

- ④マルチティンバーモードオフ：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオフになります。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	0iiiiiii	i=1(スタンダード), 36(CLP-360)
データ	00010011(13H)	
EOX	11110111(F7H)	

- ⑤マルチティンバーモードオン：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオンになります。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	01111111	i=1(スタンダード), 36(CLP-360)
データ	00010101(15H)	
EOX	11110111(F7H)	

- ⑥受信チャンネルの切替：このメッセージを受信すると、受信チャンネルの設定が変わります。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	01111111	i=1(スタンダード), 36(CLP-360)
サブステータス	0111nnnn(7nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
EOX	11110111(F7H)	

- ⑦リバーブ：このメッセージを受信すると、リバーブの設定が変わります。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
SK ID	01110011(73H)	"クラビノーバ"
機種ID	01111111	i=1(スタンダード), 36(CLP-360)
特殊操作子	00010001(11H)	
チャンネル	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	01011001(59H)	
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(OFF), 1(PEDAL), 2(ROOM), 3(HALL)
EOX	11110111(F7H)	

- ⑧デュアル：このメッセージを受信すると、デュアル演奏モードになります。データについては、送信データの項を参照。

- ⑨デュアル演奏での音色：このメッセージを受信すると、組み合わせている音色の設定が変わります。データについては、送信データの項を参照。

CLP-360

MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1990.5.22
Version: 1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック 電源ON時 チャンネル 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード 電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****		モード 1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×			
ノート ナンバー 音 域	21~108 *****		21~108 21~108			
ペロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、V=1~127 × 9nH、V=0		○ V=1~127 ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		×			
コントロール チェンジ	07 × 11 × 64 ○ 66 ○ 67 ○ 21 ×		○ ○ ○ ○ ○ ○		※1	ボリューム エクスプレッション ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル リセットオールコントローラー
プログラム チェンジ 設定可能範囲	0~5 *****		0~5 0~5			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チェーン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	× ×		× ×			
その他 ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (123~125) ○ ×		※2	
備 考	※1 121はマルチ・ティンバーモードオン時、又はオムニオフ時のみ受信 ※2 123はマルチ・ティンバーモードオン時、又はオムニオフ時のみ受信					

モード 1：オムニ・オン，ポリ モード 2：オムニ・オン，モノ ○：あり
モード 3：オムニ・オフ，ポリ モード 4：オムニ・オフ，モノ ×：なし

仕様

- 鍵盤：88鍵(A₁~C₇)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ1、ピアノ2、クラビノーバトーン、エレクトリックピアノ、ハーブシロード、オルガン
- 効果・機能：リバーブ、トランスポーズ、ピッチコントロール、デュアル
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフト/ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子
IN(L, R)、OUT(L, R)、
MIDI端子(IN, OUT, THRU)
- メインアンプ：15W×2
- スピーカー：16cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：35W
- 外装：仕上げ；ブラック/ブラックローズウッド調仕上げ、
間口…141.8cm、奥行…46.7cm
高さ…80.4cm、重量…46kg
- 装備：折りたたみ式譜面立て
- 付属品：キーカバー

オプション(別売品)のご紹介

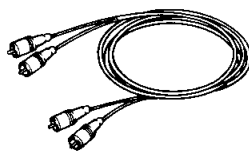
ヘッドホン・HPE-5

¥5,500



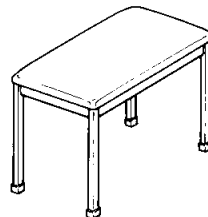
オーディオ接続コード・PSC-3

¥1,000



イス・BC-7

¥8,000



クラビノーバ用曲集

クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすいいっぱいの初心者向けの曲集です。

- クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- クラビノーバ・ファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- クラビノーバ・ファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

入門書/独習書

- クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300
レッスンから発表会まで、幅広くご活用ください。

キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。

- 隔月刊偶数月20日発売— Vol.1~4 ¥580
Vol.5~9 ¥780

*表示の価格には、消費税は含まれていません。

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、お買い上げ店にご連絡ください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、方々やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011(513)5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022(236)0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 025(243)4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL. 0263(32)5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL. 03(255)2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044(434)3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 0534(65)1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052(652)2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL. 075(361)6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06(877)5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内 TEL. 078(321)1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878(22)3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL. 082(874)3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2134
〔本 社〕 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534(65)1158

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.011(512)6114

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.022(222)6141

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル
クラビノーバ・ポータブル楽器営業課 TEL.03(572)3130

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.052(201)5140

大阪支店 / 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.06(252)7541

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.082(244)3748

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.092(472)2152

本 社
楽器営業本部
電子楽器営業部
クラビノーバ営業課 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(60)3275

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社